

医薬情報化学領域		選 択	春・秋学期	1 単位
担当研究分野	生薬学、生物制御科学、薬品製造化学、生体分子有機化学、機能分子創成化学、合成化学			
到達目標・目的	生薬学： 生物制御学：天然物医薬品の開発基盤となる生物資源（微生物）と成分の構造解析を学ぶ。 薬品製造化学：最先端の有機合成化学を、天然有機化合物の全合成研究を主題として学習する。 生体分子有機化学：医薬品化学や有機合成化学、ケミカルバイオロジーの観点から、有機化合物を総合的に捉えるための知識や技能を身につける。 機能分子創成化学： 合成化学：有機化学的な視点から化学構造を 3 次元的に捉え、理論的な理解を深める。			
受講心得・準備学習等	生薬学： 生物制御学：有機化学、機器分析学、分子生物学の参考書を一読しておくこと。 薬品製造化学：指定した課題を講義日までに解析し、プレゼンの準備をする。 生体分子有機化学：講義に先立ち、事前に配布する資料に目を通し、内容を把握・理解する。 機能分子創成化学： 合成化学：医薬品化学の観点から講義に参加して自分の見解を述べるようにする。			
事後学習・復習等	生薬学： 生物制御学：講義の中で紹介した論文や総説等を精読して、知識の定着に努めること。 薬品製造化学：当日のプレゼンに対する質疑応答において、理解を深める。 生体分子有機化学：講義および講義後のディスカッションをもとに、講義内容をまとめる。 機能分子創成化学： 合成化学：講義を通して捉えた知識から、自身の研究との関連性について考察する。			

授業の方法と各回の内容

授業の方法		講義・演習			
実施日	時間(分)	実施方法	研究分野	担当者	内 容
5/1～ 5/31	67 分	オンデマンド	生薬学	森田、 金田	
5/22 (金)	120 分 13:00～	対面 209	生薬学	森田、 金田	
7/1～ 7/15	75 分	オンデマンド	機能分子 創成化学	眞鍋	グライコサイエンス(I)
7/8～ 7/22	75 分	オンデマンド	機能分子 創成化学	眞鍋	グライコサイエンス(II) レポートにより評価を行う
7/25 (土)	75 分 16:00～	対面 209	薬品製造化学	杉田	指定した有機合成化学の課題について当日プレゼンを実施し、それに対して参加者含めて質疑応答を行う。
9/5 (土)	60 分 10:00～	対面 大谷記念 ホール	生体分子 有機化学	叶	医薬品化学、有機合成化学、ケミカルバイオロジーに関する講義を実施し、質疑応答を行う。
9/26 (土)	60 分 10:00～	対面 大谷記念 ホール	生体分子 有機化学	池内	医薬品化学、有機合成化学、ケミカルバイオロジーに関する講義を実施し、質疑応答を行う。

9/28 (月)	75 分 13:15～	対面 209	薬品製造化学	加茂	指定した有機合成化学の課題について当日プレゼンを実施し、それに対して参加者含めて質疑応答を行う。
10/9 (金)	90 分 13:15～	対面 209	生物制御科学	細江、 武田、 若菜	天然有機化合物の分離精製および構造決定（特に立体化学の決定方法）
	90 分 15:00～	対面 209	生物制御科学	細江、 武田、 若菜	生物資源としての微生物（生態、特性、代謝産物等）
11/19 (木)	75 分 19:00～	zoom	合成化学	山内（貴）	不斉反応による立体選択的反応 受講できない場合は、事前に連絡すること。
11/26 (木)	75 分 19:00～	zoom	合成化学	山内（貴）	創薬化学における合成化学の役割 受講できない場合は、事前に連絡すること。

成績評価 の方法	生薬学： 生物制御学：講義内容についてレポートを課して評価する。 薬品製造化学：プレゼンの内容や講義中の質疑応答について総合的に判断し、成績評価する。 生体分子有機化学：講義内容についてレポートを課して評価する。 機能分子創成化学： 合成化学：講義内容についてレポートを課して評価する。
成績評価 の基準	生薬学： 生物制御学：授業への取り組み方、レポート等を総合的に評価して、60%以上を合格とする。 薬品製造化学：総合的評価の点数が60%以上を合格とする。 生体分子有機化学：授業への取り組み方、レポート等を総合的に評価して、60%以上を合格とする。 機能分子創成化学： 合成化学：授業への取り組み方、レポート等を総合的に評価して、60%以上を合格とする。
教科書	
参考書など	
その他	